

高付加価値の創造

価値観ビジネスが元気の秘訣



造形専任の従業員。細かな加工は手作業で行うことも。

製造業は元気だ

『ありがとう、元気もらったよー』先日、とある人物から山口社長が言われた言葉である。

「最高に嬉しかった。もともと、製造業は元気なんだよね。ずっと日本を支えてるわけだからさ」

近年の製造業の取り上げられ方に異論を唱え、山口社長は先日、エヌシーネットワーク主催の『エミダスだよ！全員集合!!』で製造業を鼓舞する歌を披露した。その返答が冒頭の台詞である。

人を元気にさせるパワーの持ち主である山口社長であるが、そのパワーはどこから来るのだろうか。それは、山口社長の経営理念に隠されていた。

価値観を売る

「うちは、付加価値を売ってるんだよ」

その言葉通り、クライム・ワークスでは古くから高付加価値を持った製品を作ってきた。難削材の三次元加工はその最たる例だ。高付加価値の製品を作り続ける積み重ねで顧客の信頼を勝ち取ってきた。

「同じ機械と同じ時間を使って出来る仕事は決まっている。そこでいかに付加価値をつけるか。これに尽きるよね」



山口社長はとにかく元気である。

クライム・ワークスは、決して自社の製品を安売りしない。これは、バブル後、景気が落ち込んだ時もずっと貫いてきた方針である。従業員が汗を流し、工夫を重ねて作った製品に誇りを持っているのだ。

「血の通った製品を伝えていきたい。前からもそうだったし、これからも同じ」

クライム・ワークスの方針を支え続け、付加価値を積み重ね続ける事を可能にしたのは、この『自社製品への絶対的な自信』なのである。

付加価値の積み重ね

何も積み重ねの無い創業当初は大いに苦労した。当時の経験は、『付加価値の積み重ね』に対して、山口社長を貪欲にさせる。過去には社内LANを整備し、製造の時間短縮、品質保持に取り組んだ。昨年には造形機を二台導入し、造形部門を設立した。新たな価値の積み重ねになる事はなんでも取り組んでみる。この蓄積が、現在の自信へと繋がっているのだから。

自信こそが元気の源

クライム・ワークス、山口社長の経営理念は、自社製品に自信を持つ事である。製品に自信を持つ事とは、それが出来るまでに携わる全てのものを信頼する事である。そして、それこそが元気の源なのであった。

文責：大塚哲久



二台並んだ造形機。最大で600×500×600の造形を行うことが出来る。

プロフィール／株式会社 クライム・ワークス
所在地：東京都大田区大森南 3-12-1
TEL：03-3742-0691 FAX：03-3742-0692
担当：代表取締役社長 山口誠二
事業内容：非鉄金属の精密加工・工業用プラスチック精密加工及び樹脂造形
エミダス会社・工場詳細情報：
<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?74361>
※「エミダス工場検索」のキーワード検索「クライム・ワークス」で検索できます。
本誌付録の「ザ・日本製造業パワーアップ CD-ROM」にて、同社の工場技術動画をご紹介します！

クライム・ワークスは開発支援を主とする試作メーカーである。アルミやチタン、マグネシウムなどの難削材の複雑な加工を得意とし、高付加価値の製品を作っている。携帯電話用キーボード、CDやDVDのピックアップベース等がその例だ。バブル後期の創業からバブル崩壊後、暗い暗いと言われ続けた時代を乗り切り、昨年度は5億円の売上を達成。創業以来最高の業績を残した。2年後には10億円を目指す山口社長は、この成功を「自分の企業理念や経営姿勢が正しかったのかな」と振り返る。